

しまぎよしじ

# 武蔵野市議会議員 島崎義司



## 武蔵野かわら版

☆島崎義司の市政レポート

平成16年1月号

発行:武蔵野かわら版編集局 〒180-0022 武蔵野市境1-3-4-403 TEL&FAX:54-8180 E-mail:yoshiji@parkcity.ne.jp

◎毎日更新ホームページ <http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/>

### ☆ 新春にあたり皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年11月9日投開票にて施行された衆議院議員の総選挙では、小泉純一郎総裁率いる自由民主党がその後の追加公認や、保守新党との合併などもあって過半数を超える245議席を獲得。引き続き政権運営の信任を国民から得ました。

私たちの東京18区(武蔵野市・小金井市・府中市)では、「自民党の鳩山邦夫氏vs民主党の菅直人氏」というビッグネーム同士の対決となりましたが、鳩山氏が選挙区換えをしてからまだ日が浅く、市民に十分に馴染んでいなかったことや、連日党首としてテレビ・新聞等に出ずっぱりであった菅氏のマスコミ露出度効果もあり、特に武蔵野市ではダブルスコアに近い得票差が開くという、鳩山邦夫氏を支援した私としては大変残念な結果となりました。

しかし、この選挙戦を通じて、JR中央線の高架事業にとまなう「開かずの踏切問題」に期せずして

スポットが当たり、武蔵野市長・小金井市長による関係機関への働きかけもあって、小泉首相直接指示のもと、武蔵野市内でも西原踏切への仮設歩道橋の設置や、五宿踏切の歩道幅員の拡幅、本村人道地下道交通制御柵のラッシュ時の取り外し、各踏切への保安要員配置の充実などが図られるという予想外の効果ももたらしました。

私はこの総選挙を通じて、地域から衆議院議員を出すということの意味、なすべき仕事への的確な視点、国家観、大局観をもつことの重要性などを改めて感じました。

私も市議会議員として、市の様々な情報を的確に分析し、真の市民益を追い求めて行きたいと思えます。本年も何卒ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

武蔵野市議会議員 島崎義司

### ☆ 武蔵野市「武蔵境市民まちづくり基金」を設置。

#### ◎地域の独自性が光る「新・武蔵境駅舎」づくりへ。市民からの寄付金を基金化。

昨年12月17日、市議会の本会議において「武蔵野市武蔵境市民まちづくり基金条例」を可決しました。

現在進むJR中央線の高架事業にとまなう「武蔵境駅」駅舎改築に向けて、「水と緑の調和した明るく開放的な駅舎に！市民の駅は市民の手で！」として7年前に結成された「武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会」では、これまでバザーを開いて得た利益や協議会参加の個人・法人からの募金を市に寄付してきましたが、ここで、JRや西武鉄道側の市民要望への対応の見通しも立ち、事業も順調に進んでいることなどから、市では、この寄付金を「駅舎改築にとまなう施設及び周辺環境の整備」としてその用途を明確にすることで、さらに広く市民が物心両面でまちづくりに参加してもらえるよう、市の正式な基金とする

ことにしました。

このような市民の募金運動から駅がつくられた例としては、1988年に誕生した静岡県の新幹線「掛川駅」がありますが、都内ではきわめてめずらしい取り組みで、他の自治体からも注目を集めています。

※右のデザイン図は、一昨年JRより示されたものです。今後は駐輪場など高架下の活用が課題となっています。



## ☆「小・中学校30人学級を求める陳情」は本当に子どものため？

### ◎委員長採決で陳情を不採択とする。

この30人学級を求める陳情は、東京都教職員組合(都教組)から提出され昨年9月4日に私が委員長を務める「文教委員会」に付託されたもので、『30人学級の実現を!』などと言われると、一見、聞こえもよく、誰もが異論を唱えにくいものですが、武蔵野市の1学級あたりの平均児童数は平成15年現在で、小学校で31.4人、中学校で32.4人となっており、国では1学級の定数を40人と定めているため、40人を1人でも超えれば2クラスとなるようになっていきます。

近年、少子化で1学校あたりの児童数は減少傾向が続いており、もし、都教組が言うように30人学級にしたならば、例えば1学年31人になれば2クラス、15人と16人の学級ができてしまうことになり、このようなクラス構成が本当に子どものためになるのか、良い意味での競争意識をそいでしまうという点でも、私は疑問を持っておりました。今回の審議の中でも明ら

かにされましたが、この陳情の通り武蔵野市で実施した場合、小学校で44学級、中学校で18学級増えることになり財政的な観点から言っても問題です。

武蔵野市では、学習内容や教科によって、チームティーチング(TT)や少人数学習指導を進めるなど、児童・生徒の習熟度があがるよう独自の対策をとっており、今回、都教組が出した、この一律30人(以下)学級実現を求める陳情は、どちらかというところ“子どものため”というよりも、平均人件費1千万円を超える“教員の労働条件闘争(職場確保・組織維持)”という側面を感じずにはられません。

結論を出した12月17日の文教委員会では採決をとったところ可否同数となったため、委員長決するところとなり、「不採択」と致しました。



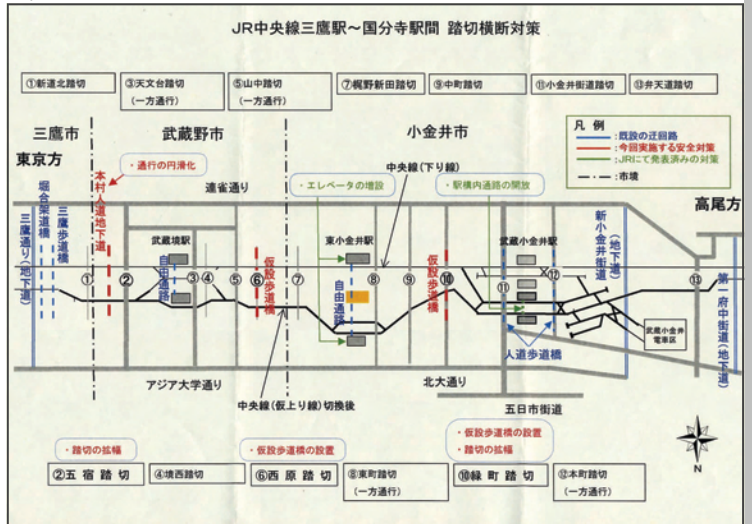
## ☆ JR中央線「開かずの踏切り対策」示される!

11月26日(水)所属する鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会にて「JR中央線における踏切横断対策の進捗状況」について以下の行政報告が行なわれました。

- ① 市内5箇所(五宿・天文台・境西・山中・西原)の踏切を、現在特急のスピードに合わせて開閉しているものを、今後は特急・特快・快速・確駅停車を自動的に判別する器機を作成して、「遅く閉まって早く開ける踏切」へと改良する。〈平成16年2月完成予定〉
- ② 西原踏切(武蔵境駅～東小金井駅間)にスロープ・階段・エレベーター付き弧船橋(仮設歩道橋)を設置。〈工事着工後3ヶ月で完成予定〉
- ③ 五宿踏切(三鷹駅～武蔵境駅間)を西側に2メートル拡幅。〈平成15年完成〉
- ④ 本村人道地下道(三鷹駅～武蔵境駅間)の固定パイプ柵を定時間帯(7:00～10:00&16:00～19:00)撤去し、交通整理員を3名配置。〈昨年11月4日より実施中〉
- ⑤ 各踏切への保安要員配置期間延長(実施中)と、案内看板増設など情報提供の強化。〈平成15年中に設置〉

委員会で私は、踏切での保安要員の指示が新たな渋滞を招かないようスムーズな誘導をお願いします。

※なお、三鷹～国分寺間の踏切改修箇所は下図の通りです。



## ☆ 「市政報告会」を開催します。

毎年恒例で開催している島崎義司の「市政報告会」を今年も下記により開催致します。お誘い合わせでのご参加をお待ちしております。

日時：2月 6日(金) 午後 7時より  
 場所：武蔵野スイングホール11階『レインボーサロン』  
 (JR武蔵境駅北口前/武蔵野市境2-14-1 / TEL0422-54-1313)  
 会費：3,000円

☆お問合せは<TEL 0422-54-8180 島崎>まで。

### 《島崎義司プロフィール》

- ◇昭和41年2月10日武蔵野市境生まれ。(37歳)
- ◇武蔵野市立二小、六中、拓大一高をへて拓殖大学商学部を卒業。
- ◇衆議院議員の秘書を9年間勤めた後、実家の食肉卸・加工会社に勤務しながら(社)武蔵野青年会議所など地域活動に取組む。
- ◇平成11年4月市議会議員に初当選。(現在2期目)現在、文教委員会(委員長)、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員、議会だより運営委員、文化事業団評議員、スポーツ振興事業団評議員、湖南衛生組合議会議員などを勤める。
- ◇家族は、妻、長女7才、長男4才

